

(27)草原のレストランゲーム

実施形態	指導必須		自然体験・感性	克服・達成	創意・工夫	自主性・協働性	リフレッシュ・体力
提出書類	指導依頼用紙 ※「自然体験活動ゲーム（複数可）」として1枚						
必要経費	指導員1人につき5,000円 ※活動時間に応じて、複数のゲームの組み合わせも可能 ※指導員1人に対し、最低6名、最大12名		★★	★	★★	★	
概要 (セールスポイント)	このゲームでは、想像力を働かせながらより深く観察する目を養います。 自然のものを使って、「エビフライ」「からあげ定食」など、食べたいメニューを完成させます。						
諸条件	場所	キャンプ場、草原		対象	幼児以上		
	所用時間	1.5時間程度		人数	30人程度まで (1グループ8人程度まで)		
	時期	通年		天候	晴天時		
準備するもの	青少年交流の家で貸し出し可能な物			団体に準備する物			
	<ul style="list-style-type: none"> のり、粘着テープ、ガムテープなど たこ糸 課題を書いたメニュー表 【留意事項】 <ul style="list-style-type: none"> 自然環境への配慮 ※草花、貴を大切にします。 実地調査による安全性の確認 ※危険な植物・昆虫・動物等 			【参加者】 <ul style="list-style-type: none"> 運動に適した服装 運動靴 ・帽子 ・軍手 ・水筒 等 【指導者】 <ul style="list-style-type: none"> 参加者に準じた服装等を準備 救急用品 ・携帯電話 紙皿（人数分） ・笛 等 			
活動内容 (手順)	所用時間	項目	内容				備考
	15分 ～30分	準備・事前指導 安全指導	① 引率者と指導員との打合せ ② 道具の受け取り ③ 事前説明				班編成、役割、配慮が必要な参加者等を共有
	50分	活動	① 課題のメニューが書かれたカードを受け取る。 ② 周辺の自然の中から材料を集める。 《注意事項》 ・落ちていたものを使う。 ・生えているものを折ったり、抜いたりしない。 ・必要以上の材料を取ってこない。 ③ 作ったメニューを持ち寄って、苦労した点や工夫した点について、各グループで発表する。				安全面を考慮して、材料を集める間は軍手を着用させる。 活動範囲を制限する。
10分	後片付け	① 活動場所の清掃 ② 道具の返却				作品を解体する時は、自然のものと人工のものに分けて処理する。なお、自然のものは元のところに戻す。	